



強み

- >> P.23 ダイダンの2つの強み
- >> P.25 イノベーション力
- >> P.29 現場力

All-in-one
CP Unit

ダイダン

ダイダンの2つの強み

イノベーション力

未来に向け新たな価値を創造する



執行役員
イノベーション本部長
鹿又 一秀

イノベーション本部長メッセージ

VUCAの時代（不確実性が高く将来予測が困難な時代）といわれて約10年が経過しました。地球温暖化による気候変動の激化、新型コロナウイルスなど新たな病への脆弱性、人口減少等による労働力不足など、社会が抱える課題は一層多様化しています。一方で、AIの多方面での利用拡大や、次世代の建物を支えるIoTなど、課題克服に貢献すると目される技術も現れてきています。イノベーション本部は、いつの時代にも良質な設備を社会にお届けするため、幅広い研究開発や高度な設計支援など基幹事業の「深化」に向けた活動と、設備への深い知見をベースに新規事業や新たな技術開発を進め、社会課題の解決に果敢に挑戦する「探索」活動の両軸で取り組んでいます。

強みの源泉

研究開発の推進

ダイダンでは、研究開発や基幹事業の高度支援を行うイノベーション本部を設置しています。「空気」「水」「光」に関する技術をコアとし、AIをはじめとした先進技術の導入や社外と連携した協創活動を通じて、時代の変化を捉えた新たな空間価値に貢献する研究開発を推進しています。これら研究開発が、「基幹事業を強化」し、「新規事業を支えるコア技術」となることで次世代の価値創造の礎となっています。



知的財産マネジメント

ダイダンの競争力確保のため、積極的な知的財産マネジメントを運用しています。特許権や意匠権のような公開知財だけでなく、社内ノウハウをはじめとした秘匿知財であるナレッジの創出と活用に貢献する取り組みなど、攻めと守りの知財運用を推進しています。

基幹事業の強靱化

>> P.53

開発製品は、製薬工場やデータセンターなど社会が求める施設にて、省エネルギーで高品質な製造環境の実現に貢献しています。また、「気流・騒音・配管腐食・照明制御」など高度技術支援により、国内・海外事業の高品質な空間価値の創造に寄与しています。

新規事業の創出

>> P.75

建築工事業に囚われない新たな事業を創出しています。その一環として、再生医療分野へ進出し、健康で活力ある社会の実現を目指しています。気流制御技術をもとに新たな価値のある製造環境の実現と、細胞製造ノウハウをもとに幅広いソリューション提供を行っています。

創出される価値

人に健康で快適な、モノに最適で機能的な空間を提供
豊かでサステナブルな社会の実現に貢献

現場力

総合力で最終工程を完遂する



上席執行役員
技術本部長
大井手 太

技術本部長メッセージ

2024年4月より新しい中期経営計画がスタートし、技術本部では「事業所、事業部と技術本部の垣根を超えた情報共有と連携により、技術力の向上とエンゲージメント向上を図り、一丸となって会社全体の成長に寄与する」という活動方針を掲げ業務に取り組んでまいりました。建設業界の抱える課題である労働環境の改善、建設DXの推進による生産性の向上、現場業務・作業削減への取り組み、技能労働者の処遇改善と担い手確保、脱炭素社会への貢献をさらに強化するとともに、一般施設はもとより高度な専門技術を要する産業施設案件に関する業務支援を行い、安全・快適・信頼の空間価値をお客さまに届けられるようさらに取り組みます。また、さまざまな施策を確実に実行し働きやすさを向上し社内のエンゲージメントを高めてまいります。

強みの源泉

蓄積した知見を活かしてプロジェクトに挑戦

新規受注のプロジェクトに対して、多くの施工実績から得たノウハウ・知見を活かすため、営業・技術だけでなくさまざまな部門が協力して、施工検討会を実施しています。機能・品質・コスト・省エネルギー性など、さまざまな視点から見て、お客さまにとって最適な設備を提供することを目指しています。

パートナーシップの強化

現場の安全で効率的な運営や施工品質の向上に欠かすことのできない優秀な職長の確保・増員を目的に、マイスター制度を導入しています。また、優秀な協力会社を「優良協力会社」として表彰、その中でも特に秀でた協力会社を「優秀協力会社」として認定するなど、マイスター制度を活用することで協力会社とのパートナーシップの強化に努めています。

エンゲージメントの向上

ダイダンは長時間労働是正に向けて、「SMILE Project」に取り組んでいます。働き方改革に対する意識向上や生産性向上に向けた施策を実施しています。「ウェルネス現場事務所」の導入により、現場の労働環境を改善しています。また、DXの推進により業務量の削減に努めています。このような活動により、従業員のエンゲージメントを高め、現場力の向上につなげています。

事業へのインパクト

設計提案力・施工技術力の向上

設計・施工の事例を中心に「テクニカル・レポート」を発行し、技術の蓄積と水平展開による技術社員のレベルアップを図っています。また、技術社員が日常業務で取り組んだ「知恵と工夫」の成果やアイデアを「技術発表会」の開催を通して全社共有することで、提案力・技術力を磨き、お客さまに満足を提供することを目指しています。

創出される価値

「知識」「経験」「行動力」でお客さまの期待を超える